

楽しく
学べます！

重篤副作用早期回避のための シミュレーションPBL

～在宅・病棟のリアル症例で学ぶ～

ワークショップ意義： 薬剤師が患者さんの病態変化と薬剤との関連に、いち早く気づくことが副作用の重篤化を未然に防ぐことに繋がります。このワークショップは、実症例をもとに患者さんの症状と副作用との関連をどのように確認すればよいか、また副作用を早期に回避するためには、どのようにマネジメントすればよいかを実践的に学ぶことを目的としています。

初心者
歓迎！

在宅で療養中の患者さんが転んで骨折し入院。
● そして、入院4日後、患者さんの病態が急変。
● 在宅訪問薬剤師と病棟担当薬剤師の連携で、
さて患者さんを守れるでしょうか・・・

病棟で活躍中
の薬剤師が、
サポートします！

ワークショップ概要

(1グループ8名程度でグループ・ディスカッション)

在宅患者の背景(DVDを視聴) ⇒薬学的問題点の抽出

入院後の患者データを皆で閲覧 ⇒副作用とすれば何？

副作用症状聴取のための患者面談 ⇒症状をどのように聞く？

副作用アプリを活用した被疑薬剤の特定 ⇒被疑薬剤は何？

副作用マネジメント計画立案 ⇒被疑薬剤の中止？減量？切替？

発表(最優秀グループ表彰)→患者その後(種明かし)

副作用チェック
アプリの活用



先着60名 (ディスカッション希望者40名、聴講希望者20名)

企画担当：東京理科大学薬学部医療安全学研究室
小茂田昌代 komo1207@rs.noda.tus.ac.jp